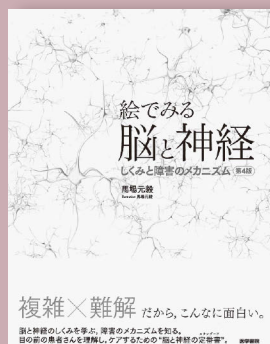


今月の 新刊紹介



絵でみる脳と神経 しくみと障害のメカニズム 第4版

著：馬場元毅
発行：医学書院
定価：本体 2800 円＋税

“脳と神経のスタンダード”の改訂版。著者の味のあるイラストと分かりやすい解説で、脳と神経のしくみや障害のメカニズムの理解を助ける。改訂のポイント「髄液の動き」と「てんかん」「高次脳機能障害」。障害や疾患が正しく理解でき、看護・介護職の日常現場で役に立つテキスト。



パーソン・センタード・ケアでひらく 認知症看護の扉

編：鈴木みずえ／酒井郁子
発行：南江堂
定価：本体 3800 円＋税

認知症看護に欠かせない“パーソン・センタード・ケア”の概念のもと、認知症をもって生きる人を理解した上での具体的なケアの方法論と展開法を網羅的に解説。看護職が地域包括ケア体制下で予防から看取りまでを支えるキーパーソンとして、ケアの実践と連携の技を身につけるための 1 冊。



看護師のための 不穏・暴力対処マニュアル [WEB 動画付]

編：本田明
発行：医学書院
定価：本体 2600 円＋税

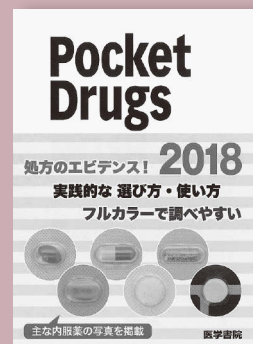
一般診療科でも起こりうる不穏や暴力に備えて、その定義やアプローチとともに、豊富な動画、写真を使い、臨床で役立つ対処手技を分かりやすく解説。患者・スタッフ双方の安全に配慮し、院内の体制構築やリスクアセスメント、身体拘束、薬物療法など、包括的な知識が身につく 1 冊。



平成 29 年版 看護白書 訪問看護の新たな展開

編：日本看護協会
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 3200 円＋税

地域包括ケアの推進において、看護職には地域で主体的に活動することが期待されている。本書は「訪問看護の新たな展開」をテーマに、全世代型地域包括ケアの方向性を解説し、訪問看護と病院の双方の視点から、生活と医療をつなぐ看護の取り組みを紹介している。



Pocket Drugs 2018

監修：福井次矢
編集：小松康宏／渡邊裕司
発行：医学書院
定価：本体 4200 円＋税

添付文書情報＋オリジナル情報が充実した、ポケット判医薬品集。治療薬を薬効ごとに分類し、「臨床解説」「選び方・使い方」「エビデンス」をコンパクトにまとめた。主要な薬剤は製剤写真も掲載。運転注意、休薬、投与期間制限等の情報を新たに追加。



はじめての経営学 経営組織論

著：鈴木竜太
発行：東洋経済新報社
定価：本体 2200 円＋税

経営学の中心となる科目の 1 つ「組織論」。本書は、「組織論」を「道具として使える学問」と位置づけて、組織のもたらすメリットを最大化する方法を考える「教科書兼トリセツ」。前提知識なしでも組織論の全体像が把握でき、かつ、新しい知見についても学べる。組織をもっと良くしたいと考える人に。